

(様式3)

平成30年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

| | | | |
|--------|--|------|-------------------------------|
| 施設名 | 老人福祉センター | 所在地 | 伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター1階 |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 | 指定期間 | 平成28年4月1日から平成33年3月31日 |
| 設置目的 | 市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため | | |
| 業務内容 | ・老人の教養の向上及びレクリエーション等に関すること ・老人の生活及び健康等の相談に関すること ・老人の機能回復訓練実施に関すること ・老人クラブに対する援助等に関すること ・その他老人の福祉増進に必要な事業 | | |
| 施設概要 | 本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等 | | |
| 職員体制 | センター長 1名(兼務) 事務職員 3名 | | |
| 施設所管課名 | 高齢者支援課 | | |

2 収支状況

| | | (A) | (B) | (C) | (単位:円) |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 比較(C-B) |
| 事業 収支 | 収入 | | | | |
| | 指定管理料 | 6,749,000 | 6,749,000 | 6,749,000 | 0 |
| | 利用料金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計(a) | 6,749,000 | 6,749,000 | 6,749,000 | 0 |
| | 支出 | | | | |
| | 人件費 | 4,853,054 | 5,015,477 | 5,695,622 | 680,145 |
| | 管理運営費 | 1,698,613 | 1,627,261 | 1,725,498 | 98,237 |
| その他 | 420,748 | 101,329 | 0 | △ 101,329 | |
| 計(b) | 6,972,415 | 6,744,067 | 7,421,120 | 677,053 | |
| 収支差引額(a)-(b) | △ 223,415 | 4,933 | △ 672,120 | △ 677,053 | |

| | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載 | 支出その他:繰入金、剰余金積み立て支出なしによる減。 |
|----------------------------------|----------------------------|

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

| 指定管理者 | 市 |
|--|--|
| 施設の設置目的達成のために努力した。老人福祉センターの利用者は前年度比較で、1,053人減少した。はつらつ教室の利用者は前年度比較で、286人減少となった。 はつらつ教室に関しては、今後もアンケートや聞き取り調査を行い、ニーズに沿った教室の実施や、人気のある教室の継続開催を行っていききたい。また、新たな利用者が増えるように努めたい。 | 施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。 はつらつ教室の利用者が、若干ではあるが減少傾向にあるため今後もアンケート等を行い、ニーズに即した事業展開を心がけ、高齢者の社会参加の促進、福祉増進に努めることを期待する。 |

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

| | | 施設名 | | 老人福祉センター | |
|-----------|----------------|-------|---|----------|--|
| 評価項目 | | 評価 | | | |
| | | 指定管理者 | | 市 | |
| 業務運営項目 | 評価の基準 | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 |
| 施設設置目的の達成 | ①施設の目的や基本方針の理解 | A | 施設の目的や基本方針を理解し管理運営に努めた。 | A | 施設の設置目的や基本方針を理解し管理運営に努めたと思われる。 |
| | ②施設設置目的の達成度 | A | 高齢者を対象とした教室等開催し施設の目的達成に努めた。 | A | 施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。 |
| | ③利用者数 | B | はつつ教室の年間利用者数が、平成29年度の 5,866名から、平成30年度は 5,580名になり、286名の減少となった。 | B | 各種教室を企画し目標達成に努めたとされるが、前年度より若干利用者数が減少している。 |
| | ④運営状況 | A | 施設の供用日数・供用時間を守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。 | A | 事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思われる。 |
| | ⑤職員の配置状況・勤務実績 | A | 職員の配置・勤務を適正に行い、業務執行体制についても作業責任者、業務担当者等の役割を設定し業務を執行した。 | A | 職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。 |
| | ⑥意思疎通 | A | 管理運営業務全般において、伊勢市と協議や連絡調整を行いながら管理運営をした。 | A | 運営業務全般において、伊勢市と協議や連絡調整を行いながら業務を遂行していた。 |
| | ⑦各種管理記録等の整備・保管 | A | 各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。 | A | 各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・年報にて報告がされていた。 |
| | ⑧地域の振興 | A | 地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。 | A | ボランティアまつりの開催支援や、福祉健康センターフェスティバルを実施し地域住民との交流を図った。 |
| | ⑨使用許可等 | A | 使用許可等申請が適正に行なわれていたか。 | A | 使用申請の提出を施し、適正に受付を行い使用の許可をした。 |
| | ⑩利用料金等の徴収状況 | A | 徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。 | A | 利用料の帳簿等を作成し徴収、還付等適正に行った。 |
| | ⑪個人情報 | A | 個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。 | A | 個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていたと思われる。 |
| | ⑫法令遵守 | A | 関係法令を遵守していたか。 | A | 法令違反は見受けられなかった。 |

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

| | | 施設名 | | 老人福祉センター | | |
|-------------|-----------------------|-------|--|----------|--|---|
| 評価項目 | | 評価 | | | | |
| | | 指定管理者 | | 市 | | |
| 業務運営項目 | 評価の基準 | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 | |
| サービスの質の向上 | ①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み | A | はつらつ教室としての工夫を心がけ、福祉健康センターフェスティバルと共催で作品展を開催し、利用者増加に努めた。 | A | 新たな取り組みを取り入れるなど積極的に事業を行っていた。 | |
| | ②利用者の平等な利用 | A | ミーティング等を行い、職員間での情報を共有し利用者への平等なサービス提供に取り組んだ。 | A | サービス水準については、期待される水準にあった。 | |
| | ③適切な情報提供 | A | 社協だよりに各教室の募集記事の掲載をした。福祉健康センターだよりを年6回発行し公共機関等への配布を行ったり、ホームページ等での情報提供を行った。 | A | 適切な利用情報の提供を行っていたと思われる。 | |
| | ④非常時・緊急時の対応 | A | 緊急時のマニュアルを作成、年2回避難訓練を実施、また職員全員が、AEDの講習を受講し非常時・緊急時の対応に備えた。 | A | 緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適切に行われていた。 | |
| | ⑤苦情解決体制及び対応 | A | 利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。 | A | 利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたと思われる。 | |
| | ⑥自主事業 | A | 利用者ニーズに即した自主事業が行われていたか。 | A | 利用者ニーズに即した自主事業が行われていた。 | |
| | ⑦事業の評価 | A | 事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。 | A | 次年度に向けての見直し等は行っているが、それをどこまで次年度に反映させるかが課題と思われる。 | |
| 施設・設備等の維持管理 | ①建物・設備の保守点検 | A | 設備の定期点検、建物の安全点検を行った。また植栽管理し安全の確保、美観の保持を心掛けた。 | A | 毎月安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。 | |
| | ②備品等の管理 | A | 備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。 | A | 破損や紛失がなく、適正に管理されていた。 | |
| | ③修繕業務 | A | 点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。 | A | 毎月点検を行い、月報により適切に報告されていた。 | |
| | ④清掃業務 | A | 清掃は適切に行なわれていたか。 | A | 清掃は適切に行なわれていた。 | |
| | ⑤防犯体制 | A | 鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。 | A | 鍵は所定の場所に保管し、貸出簿の記入を行った。最終退館者が退館簿に記入することを徹底した。夜間は業者に委託し防犯対策をした。 | A |